



令和2年6月号

※今しばらく駒剣の活動は自粛します。最新の情報等については駒剣 Slack をご確認ください。

6月の予定

6月13日(土) 14:00~ 役員会 上木崎公民館

7・8月の予定

7月23日(祝・木) 塚越剣友会との交流会 延期

8月1・2・3日 駒剣夏合宿 中止



学校が再開^{さいかい}しました。3か月間学校に行っていませんでしたので、この分散登校^{ぶんさんとうこう}期間中に学校での生活^{かんとちゆう}に慣れるようにしていきましょう。あせらず、あわてず、ゆっくりでいいです。からだところのリズム^{リズム}を整^{ととの}えるようにしましょう。



本荘先生からのお言葉

3か月の長い休校期間があけ学校が再開しました。まだ気持ちを緩めるわけにはいきませんが光は見えてきました。もう少しの辛抱です。それぞれに竹刀、剣道具の準備や体調の管理をしておいてください。

まず13日(土)に役員会を開き今後のことについて検討します。全剣連が「6月10日に対人稽古の自粛のお願いを解除する」と発表し、稽古をするにあたってのガイドラインが作成されました。すぐに今まで通りとはいきませんが、いつからどのように稽古を再開するか考えていきます。ただ、今年度は残念ですが8月上旬の夏合宿は中止とします。楽しみにしていた小中学生、そして大人も多かったとは思いますがご了承願います。その代わり終息後に何か違うイベントを計画できたらいいですね。海の日に予定していた塚越剣友会との交流会も、稽古ができるようになったらあらためて企画し直すことになっています。

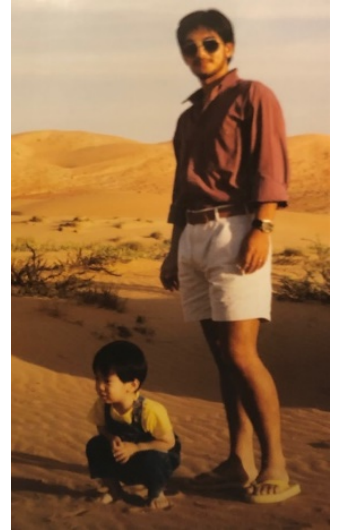
さてさて、今月も皆さんと会っての記事が書けません。こんなにも長くなるとは思いませんでした。申し訳ありませんが、ひきつづき私の「武士道トゥエンティーズ」(教師になって・旅立編)におつきあいください。

教師になりたいと思ってはいたものの、大学4年になっても剣道中心の生活でした。教員採用試験に向けての勉強も先延ばしにしていました。大学では小学校の教師になるコースに所属していましたが、中学校と高校の数学の教員免許状も取得見込みで、どの校種の教師になるのかを悩んでもいました。小か中、どっちにしようかと。最後の最後に部活の指導もやりたいと中学校に決めました。まわりの仲間は早くから教員採用試験の勉強をしていて、外国の教育者の名前や教育基本法の文言などを出し合っていました。それを聞いてもチンプンカンプン、直前になって焦り始めました。夏に各県の採用試験があるのですが、1次は直前まで全国教育系大学の合宿が代々木のオリンピックセンターであり、埼玉はその主管校でありハードワークを強いられていました。試験当日、一般教養の苦手な音楽で、短い楽譜が2つあり共通の作曲者を選びなさいという問題がありました。いつもわからないので適当に選んじやうのですが、鼻歌のように頭の中で「ふんふんふんふん・・♪」と歌っていたら『あっ「箱根八里」と「荒城の月」だ!』と突然ひらめき滝廉太郎をマーク「やった!」。苦手を克服し合格。2次は、前日まで新潟の岩原でひたすら切り返しをしていた夏合宿を途中抜けて、翌日受験しました。面接で「剣道で全国大会レベルでの実績ありますか?」と聞かれ「はい、先日全国教育系大会で準優勝しました。」「あなたは選手で出場したのですか?」「はい、大将としてがんばりました。」そこで面接員全員が手元の書類に○らしきを書いているのを見て「よっしゃ!」がんばったのは事実ですが、それほど活躍はしていないのです。仲間のおかげです。よくこんなんでと思うでしょうが、自分としては短期間ではありましたが集中してすごく勉強したのです。大学の図書館や今はなくなりましたが埼玉会館の隣にあった県立図書館などに籠って一日中勉強していました。お恥ずかしい話ですが、なぜ勉強をがんばれたかという早く結婚したかったのです。理由は高校で寮生活、大学でも独り暮らしだったこと。そして若気の至りでちゃんと就職先が決まらなると、相手の親に「お嬢さんをください」的



なことを言えないと考えたりして必死だったのです。幸い合格し、鳩ヶ谷市立八幡木中学校の数学の教師となりました。あの毎年秋に行っている学校です。3月に学校に行って校長先生から「4月から1年生の担任をお願いします。」と言われたときは、飛び上がるくらいうれしかったです。自分のクラスが持てる、私の生徒たちが入学してくるのだと舞い上がり、学校の桜がすべて自分のためだけに咲いていると勘違いしスキップして帰りました。

数学の教師、そして剣道部顧問としての生活が始まりました。その年の11月に結婚し、3年目には長男が生まれました。その頃、海外の日本人学校に行きたいと考え、4年目に受験しました。まわりの受験者は30代半ばから40歳くらいの方が多かったです。何度か県内の試験があり最終試験は当時の文部省でありました。20代は珍しく「若いすねえ、その若さで何ができますか？」というちょっと意地悪な質問を受けました。受験資格があって受けているわけですから「若いからこそできることもあると思います。」少々ムッとして答えたのを覚えています。こちらもなんとか合格し、その年の12月に勤務校の校長先生から「おめでとう、アブダビ日本人学校だよ。」「アブダビ？どこにあるのですか？」「知らん。」地図帳で調べたら中東にあるアラブ首長国連邦の首都。今でこそアブダビやドバイは知名度があり、気軽に行ける観光地になっていますが当時は全然。湾岸戦争が最近まで起きていて物騒な印象でした。行き先は自分では選べません。



平成4年12月砂漠にて長男と

平成4年4月、妻と長男（1歳）と共に全校児童生徒55人のアブダビ日本人学校に着任しました。最初の年は小3の担任、学校で一番人数の多い学年、それでも15人です。とても元気の良いクラスで毎日楽しかったです。日本で中3を2年続けて担任していたので、何か話すと「何それ〜？」黒板に漢字を書くと「まだ習ってな〜い」クーラーの効いた教室で大汗をかいていました。2年目は中3の担任、鹿児島島の男子1人だけ。数学は学年ごとに教えるので家庭教師状態、体育は中学部男女全員一緒に私が教えていました。3年目は小6の担任、女子3人。小5（小3の時担任した子）と一緒に国内の修学旅行に行くなど思い出がいっぱいできました。

毎日、日替わりでスポーツ教室があり、私が赴任して剣道もやるようになりました。古い道具がありましたが、私が全剣連に手紙を書いたら、たくさんの剣道具や竹刀を送ってくれました。企業に勤めるお父さんらと3年間、涼しい体育館で楽しく剣道の指導をすることができました。帰国が平成7年の3月でした。直前に阪神大震災があり、アブダビを出発した日に東京で地下鉄サリン事件が起きました。我が家では1月に妻が次男をアブダビの病院で出産し、両家の両親がアブダビに来るということもありました。帰国したのがちょうど30歳、この年に剣道六段に合格できたので、海外での3年間はブランクではなく、良い稽古ができていたのだと思います。こんな20代でした。



平成5年2月アブダビ日本人学校体育館にて

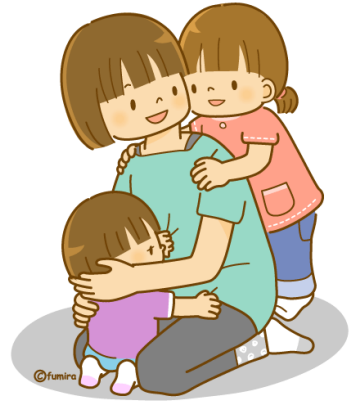
読まれていてお気づきのように、私の進路選択の節々において「剣道」が大きく関わっています。海外に出られたことは小・中両方の教員免許状をもっていたことも有利に働いたようですが、剣道の指導ができるということも影響したと思っています。30代から今に至るまで、さらに剣道の恩恵を受けるわけですがそれはまたの機会に。

来月号ではぜひ「稽古再開」のことを書きたいと思っています。

剣道と再び出会った頃＜剣道の再開＞

尾島 寿子

21歳で結婚し22歳で長女・24歳で次女を出産し、若きママをスタートしました。明大前・与野・北浦和と引っ越しを繰り返して、姑と同居で32年前から大宮に現在も住んでいます。若きママは子育ての知識も全く無く、昭和建築の木造一軒屋に住む事になりました。建付けが悪く(古いから仕方ない)隙間風が通り、風呂は無い(銭湯通い)、湯沸かし(給湯)は無い、ガスコンロは1個だけ、虫が家の中に自由に入ってくる。為せば成る派の私も子育てにも悩み、この心を何とかしなきゃと思う時がありました。自分は今何がしたい？自分は何が今できる？夢に見ました。久しぶりに剣道をやって面のつけ方が分からなくて悪戦苦闘している姿を。その時「昔やっていた剣道だ！」と思いました。子供を持ちながら剣道ができる場所と、環境…それをすぐ探し始めました。北浦和の公民館・与野の体育館・北浦和の新田道場と見学し、平日の午前中に婦人部の稽古がある新田道場に25歳から通うことになりました。娘次女が1歳になり離乳ができたので、大宮に住む姑に北浦和の借家で子守を頼み、3歳の娘長女を連れての稽古が再開しました。長女は大人しく私の稽古が終わるまで上座の畳に座って私を待っていてくれました。当時お金がなく婦人部のお茶会には参加できず、月1回の回り寿司と月1回の不二家のケーキがご馳走でした。離乳食と食事の用意はコンロ1台で2時間かかりました。妊娠中に大きなお腹で銭湯は少し勇気がいりました。



これは悲しい記憶でなく大切な思い出であります。剣道再開して本当に楽しい時間でした。姑や近くに住んでいた姉に助けてもらい剣道ができたことは本当に有難い事でした。感謝です。私が剣道と再び出会った頃(再開の時)が無かったら今の駒剣士にも会えなかったと思います。。長女は中学に入った時、部活動の剣道部が廃部になっていて大宮の道場と新田道場にお世話になり、二段をいただくことが出来ました。次女は中学に剣道部同好会が発足され入部しましたが2学期から美術部に転部。一度次女と剣道をしたことがあります…「お母さんとは絶対にもう剣道をしない！」と言われたことがあります。面を着けるといつもの母でないことを察したのですね。親として反省をしました。

長女が大学生の時に、グアムの文化交流会に共に参加しました。剣道着・袴・木刀を持って小学校のホールのステージで日本剣道形を披露しました。見ていた小学生から何故か大きな笑い声が聞こえてきました。大学で外国コミュニケーション学科を学んでいた長女に通訳してもらいながらの演武です。何故「笑い」？ 分かったことは、先に打ち出ているのに負けてしまったのが可笑しかったようです。打太刀は先生役で打つ機会を教えている、仕太刀はその機会に打つという理合がうまく伝わらなかったのは残念ですが、興味を持って楽しく見てもらえたのが救いでした。娘と海外で剣道が

できた幸せはこの上ありません。次女も何年か前、「どこかで剣道できる場所ってない？」と聞いてきた時がありました。娘たちは子育てや仕事の生活ですが心や記憶に剣道があって、いつの日かリバイバル剣士になったり孫たちが剣道を始めたりすることもあるかもしれません。娘には「お母さん剣道をやらせてくれてありがとう。」の言葉を昔にももらっています。社会、家庭で、剣道の経験、精神が生きているのだと思います。同じ婦人として駒剣の婦人剣士とお母さんが、子育てをしながら仕事や家事もし、駒剣の子の育成に尽力していただき感謝の念で一杯です。



新ジャイアのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？
解除だ、解除だ！待ちに待った解除だ！
やっと学校に行けるな。友だちと会えるな。
でも、気をゆるめたらダメだぞ。そして、まだまだ完全にはもとの生活にはもどらないので、その時の状況にあった生活をしないと。

でも、稽古ができるようになるのも、もう少しのような気がするな。また、みんなと稽古ができるのが楽しみだな。

ところで、稽古ができるようになるのを不安に思っている人いないかな？自主練，サボっていて剣道忘れちゃってないかな？でも、そんなに不安にならなくてもいいぞ。今からでも、十分稽古再開に間に合うぞ。少しずつ，準備をしよう。

まず，素振りだ。竹刀を部屋のすみの方にしまっちゃっている人も，まずは，竹刀を出して，見てみよう。次に構えてみよう。何となく，前の感覚がもどってこないか？振りたくなるよな。そしたら，庭とか広い場所に出て，10本だけ素振りしてみよう。久しぶりの人は，「あれ？何か変だぞ？」ってなるんじゃないかな。多分，よけいな力が入っているせいだな。今度は，あまり早く振るんじゃなくて，8割くらいの力で振ってみよう。何となく感覚が戻ってきたら，少し速く，「ピュッ」っと振ってみよう。そうやって，少しずつ前の感覚をとりもどそう。あとは，本数を増やしていけばいいぞ。

竹刀を出したついでに，竹刀の状態も確認しておこう。よく見ると，割れたり，ささくれになっていたりするのに気付くことがあるぞ。ささくれを修理できる人は時間のあるときに修理しよう。修理できない人は，おうちの人と相談して，剣道具屋さんや修理できる人に修理してもらったり，修理が難しければ，稽古再開に向けて新しい竹刀を買っておこう。

そして，次は，防具だ。防具袋に入れっぱなしの人，いないかな？入れっぱなしの人は，天気の良い日に出してみよう。カビとか生えてないかな？カビが無くとも，汚れがついてないかな？そういう人は，ぬるま湯にひたしたタオルを固くしぼって防具をふくといいぞ。汚れてないと思っけていても，結構，汚れがとれるので，やってみてくれよな。その後は，日影で干しておくといいぞ。

さあ，これで稽古再開に向けての準備はできたな。

最後に，大切なことをひとつ。学校にいる時間がまだまだ短くて，おうちの人が大変だぞ。仕事もだんだん忙しくなるはずだから，みんなも回りを良く見て，協力できるところは協力しような。

みんなの元気な顔を見るのを楽しみにしているぞ。

じゃあ，またな！

太郎の百錬自得



第75回

緊急事態宣言も解除されて少しずつ日常に戻りそうな気配も出てきました。東京でまた感染者が増えているなど不安な要素もありますので、すぐに稽古が再開する気はまだしません。そもそも予防できるワクチンがない限りこの問題は解決しないんですよね。新型コロナウイルスがなくなるというのは今のところ非現実的です。

もう40年近く結構な期間を剣道とともに歩んできましたが、当然剣道の稽古をしていなかった時期は幾度かありました。受験勉強やら就職活動、社会人として新米で稽古どころじゃなかった時期、などです。

こういう時期でも何か辛いことがあった時や頑張らなければいけない時、稽古で培ったメンタリズムが生きることは多くありましたし、稽古していない時に感じた気持ち、学んだことがのちの剣道の稽古に生きることも多かったです。

なので、きっと今の自粛生活が今後に生きるはずだと思っています。今をきちんと味わうというか楽しむ、そういうことが重要なんだと思います。さて、私は小さい頃喘息で体調を壊すことが多く、剣道をはじめたのも当時喘息など呼吸器系疾患に剣道の稽古は有用だという話もあったからでした。小中学生の時は特に体力もなかったので、練習についていくのがやっとだった記憶があります。

小学生時に練習していた体育館は小さな丘の上であり、ぐるっと走り込みをしてから稽古がはじまるのでした。防具をつけての稽古も、地稽古などはなくて、ほとんど切り返し、打ち込み、技の練習、追い込みといったメニューでした。今ではありえないですが、水飲めない環境でしたし、キツかったです。

何が楽しかったかって、稽古後仲間たちと遊びながら帰ることくらいしか思い出せません。缶蹴りしたり、かくれんぼしたり、そんなことが楽しかったんですね。

試合に勝った記憶はあまりありませんね。地区大会で上位に入ったりしたことは2、3度あった気がしますが、団体も大抵ベスト4止まりだったかなと記憶してます。みんなもいろんな理由で剣道を始めたと思いますが、まああまり理由なんて大事じゃないかもしれませんね。何か楽しめることがあって、その周りに剣道があるので十分だと思います。とにかく剣道というものを通して、出会えた縁に感謝していきたいものですね。それでは！



卒業生への鰐の作り方

渡辺良平

卒業生への記念の鰐を作り始めて15年ほど経ちますが、「試行錯誤」を繰り返し、ここ数年はかなり良い仕上がりの鰐を作れるようになりました。（昔の卒業生の皆さんごめんなさい！）

以前より作り方を教えて欲しいとの声もあり、公開しますのでぜひ興味のある方は真似してみてください。トライしてみたい方は、“弟子入り”可能です！

10年程前にも一度3回に分けて作り方を「こまけんだより」に載せてもらいましたが、その時よりも今の方が随分作り方や、仕上がりが違いますので改めて紹介します。できるだけ分かりやすく説明するために多くの写真も載せてもらいました。

一度に全部載せてもらうと、お楽しみが無くなるので今回も3回に分けることにしました。

“企業秘密！”の部分もありますので、そこは“企業秘密”としてありますが、許して下さい。

3回掲載の内容は、6月号「準備編」、7月号は「作成編」、8月号は「仕上げ編」とします。

それでは、さっそく「準備編」の説明です。



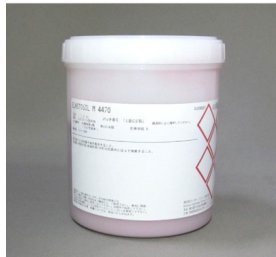
これが完成品です。完成目指してガンバロウ！
中に入っている紅葉は上木崎の足立神社で4月に頂いてきたものです。

準備 1.

用意するもの



① クリスタルレジン



② シリコーン



③ シリコーン型

良平さんの特性鰐は、透明なガラスのような素材に“紅葉”が入っていますが、この鰐の素材はガラスではありません。素材はエポキシ樹脂というプラスチックですが、普通のプラスチックは固形で熱すると柔らかくなり種類によりますが200～270℃でドロドロした液状になり、高温になったまま型（主に鉄製）に流し込み、コップ、バケツ、自動車のバンパー、竹刀の鰐など色々なプラスチック製品に加工されています。しかし、エポキシ樹脂は熱を加えなくても液状で、20℃くらいでハチミツくらいドロドロした感じです。ドロドロした感じのままだと形を作れないので、硬化剤という液状のものを混ぜて固めて、成型します。混ぜて固まるまで気温にもよりますが、12～24時間です。エポキシ樹脂は一般的にはクリスタルレジンという名前でもヨドバシカメラや東急ハンズでも売られています。①の写真は1.5kg入りで良平さんはいつもこれを買っています。特性鰐の重さが約40gですので、材料ロスを考えても30個程度鰐を作れます。

次に、クリスタルレジンを流し込む“型”ですが、②のシリコーンというゴムで型を作ります。このシリコーンもエポキシ樹脂と同じようにドロドロしたもので、同じように硬化剤と混ぜ合わせて固めます。シリコーン型の詳しい説明は省きますが、元になる“形＝鰐”を作って、それを元にして“型”を作ります。少し硬めのゴム製の型になります。

今回作った鰐のシリコーン型は③を使っています。このシリコーン型は3年前に作った物ですが、②のシリコーンを使っています。②のシリコーンで5～6個の型を作れます。鰐の仕上がりの良し悪しは元になる“鰐の形”と“シリコーン型”でほとんど決まります。“形”と“型”の詳しい作り方は『企業秘密？』なので省きます。

準備2. 用意するもの



④ ①の中身 2種類



⑤紅葉



⑥シリコンスプレー



⑦ガラスクロス

準備1. のシリコン型はていねいに使えば10回位は使えます。準備2. では実際に鏝を作るために使用する材料とクリスタルレジンをシリコン型に流し込む手前までを説明します。

写真④は①のクリスタルレジンの中身です、エポキシ樹脂1kgと硬化剤0.5kgがセットが入っていますが、後ほど説明しますが重量で2:1の割合です。

写真⑤は押し花済の紅葉、今回は上木崎の足立神社本殿裏の紅葉を用意しました。押し花する時は、紅葉の葉が折れないよう、曲がらないように新聞紙に挟んで2~3kgの重りを乗せます。雑誌なんか適しています。一週間ほどで押し花は完了します。

写真⑥はシリコンスプレーです、②のシリコンとは全く違うもので、さらさらした透明な液状シリコンが入っていてスプレー式で噴射できるようになっています。②のシリコンも⑥のシリコンも原料は同じようなもので出来ていますが、形状や用途が異なります。共通しているのは、「物が引っつかない、良く滑る」ことです。

写真⑦は、ガラスクロス(ガラスの布)です。一般的にガラスと言えば、コップや花瓶のように硬くて、割れやすいものですが、糸と同じようにものすごく細い繊維(せんい)でできていて、折れたり割れたりしません。でもハサミで簡単に切ることが出来ます。

余談ですが、このガラスクロス(或いはグラスファイバーと言われる)は色んな場所で使われています、例えばプラスチック製の浴槽(よくそう)ですが、これはこの特性鏝に使っているのと同じようなエポキシ樹脂をガラスクロスに浸み込ませて作られています、ボートやヨットも同じです。大きい物では東京ドームの屋根もガラスクロスが使われています。

特性鏝にガラスクロスを使用するのも、鏝を割れにくくするためです。

写真⑧はちょっと分かり難いと思いますが、⑥のシリコンスプレーをシリコン型のエポキシ樹脂が入る部分の全面に吹きかけています。シリコンを吹き付ける理由は、「型抜け」を良くするためです。(固まったエポキシ樹脂が取り出しやすくなる。「ていねいに型を使えば10回ほど使える。」と先に説明しましたが、型抜けが悪いとシリコン型は4~5回使うと割れてしまいます。)

最終の仕上げ編でも説明しますが、鏝の作成の最終工程でこのシリコンで磨きを掛けますので、最初と最後の2回使います。このシリコンスプレーはビバホームやドイトなどのホームセンターで売っています。

*この吹付け作業は必ず屋外で行います。シリコンを吸い込まないように注意して下さい。良平さんは一度リビングの板の間で新聞紙を置いて吹付け作業をしたときに板の間にもほんの少しシリコンが散らばってしまいました。靴下を履いたままだと滑って転んでしまうくらい、その部分だけがめっちゃくちゃ滑るようになり、普段は優しい奥さんにメチャクチャに怒られた事があります。



⑧シリコン吹き付け

最後にちょっとだけ、作成編の説明です。

写真①と④は特性鏝の材料で、エポキシ樹脂と硬化剤を2:1の割合で混ぜて使いますと説明しました。写真⑨は秤に乗っている物の重量を35gと示しています。カップの重さは5gです。中身は30gです。みんなはもう中にはエポキシ樹脂20gと硬化剤が10g入っているのが分かっていると思います。ここで一番大切なことは、“正確に重量を測る”ことです。誤差範囲は1g程度です。

写真⑩は、⑨で計量した物をよく混ぜます。ドロドロした液体を混ぜるのはなかなか難しいので、古くなったドライヤーを使って温めるとサラサラと水の様になるので混ぜやすくなります。しっかりと混ぜます。不十分だと計量不良よりたいへんなことになります。固まった部分と固まっていない部分が発生します。

写真⑨の示す重量は35gで中身は30gですが、鏝の重さは約40gです。10gほど足りませんね！？これでいいのです。なぜ？これで良いのか！

来月のこまけんだよりをお楽しみに！



⑨計量



⑩混ぜる

威風胴々

清水 聡

これまで幾つかの胴を中古から再生したり、オリジナルのアイデアで製作したことがあります。そんな過去の実例や胴の構造についてお話させていただきます。

私が剣道をリバイバルして最初に購入した防具は、超破格のセットでした。胴は樹脂胴でしたが値段相応だったのでしょうか、かなり傷つきやすいものでした。ある時、傷だらけになった胴を見て、これはいかんなーと思い、無謀にもニス塗って磨いてみました。それなりにできたのですが、芸術学部出身者として『ああ、やっちゃったな(やってはいけないやり方をしちゃったな)こりゃいかん、胴を詳しく知ろう』と思いました。

【樹脂胴の再生】

<Before>



<After>



ほとんどの塗装に共通すると思いますが、塗装することで下地の凹が埋まります。塗装面を磨けば表面が平らになります。何度か繰り返せば相当深い傷の凸凹でもツルツルになります。

でも胴の淵を包んでいるへり革を外してやらないと、端の部分は綺麗に仕上がりにませんでした。その後は…先生方の防具を観察したり、剣道具屋さん等の Web サイトを見たりして知識を集めました。そうすると新しい防具が欲しくなってきました。

胴はやっぱ竹胴がほしい！



でも高くて予算が足りない！！

でも、欲しいー！！！！

ある時、中古の胴を再生すれば安くて、しかも自分好みの胴を手に入れられるのでは？と考えました。そこでヤフオクで検索開始。中古の50本竹胴を1万円で GET しました。

胴は次の部位から構成されており、分解・組み立てることができます。

【胴の主な部位の名前】

<p style="text-align: center;">胴胸</p> 	<p>胸を守る部分です。胴胸からつながって脇の下に延びる部分は「子胸」または「足」と言います。脇の下を守る部分です。子供用の小さな胴には「子胸」が無いものもあります。</p>	<p style="text-align: center;">胴台</p> 	<p>お腹を守る部分です。この素材の違いで胴の種類が下記の3つに分けられます。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

【胴の種類】

<p>樹脂胴 (ヤマト胴)</p>	<p>ナイロン樹脂でできています。裏面はツルンとしたものと、竹胴の様に縦に凸凹のついた50本型、60本型等があります。</p>
<p>ファイバー胴</p>	<p>パルプ繊維原紙でできています。何重にも張り合わせて高圧で固めています。</p>
<p>竹胴</p>	<p>細長く加工した竹を組んで、表面に牛革を貼った胴です。竹の数は主に43本、50本、60本の型があります。</p>

胴胸と胴台は「閉じ革」という幅5mm程度の革の紐で綴じられています(右図の矢印)。胴台と胴胸には閉じ革を通す穴が開いています。



更に、胴台の淵は「へり革」という幅5cm程度の革で覆われており、綴じ革で綴じられています。



ということは、胴の表面が傷だらけであっても再塗装して磨けばピカピカになります。へり革がボロボロでも、綴じ革が切れていても、そこだけ新しい物に交換すれば、限りなく新品に近づけると考えた訳です。

胴台の表面は一般的に多いのは黒色の胴です。竹胴の場合、牛革の上から漆で塗られています。再塗装するには漆を使用するのが一番ですが、扱いが難しく素人には手に負えません。その代わりにホームセンター等でカシューという人工漆の塗料が入手できます。これも匂いは相当なものです。塗装期間中は家族には嫌われます。また、完全に乾燥しないと固まらないのですが、乾燥までに時間が掛かるのも難点です。

【ということでやってみた竹胴の再生】

＜ Before ＞



＜ After ＞



およその材料費(製作当時)の内訳

1	中古の竹胴	10,000円
2	へり革と閉じ革と胴乳革	6,000円
3	塗料3色 (カシュー)	2,000円
4	塗料薄め液	800円
5	柿渋液	1,000円
6	刷毛4, 5本	500円
7	千枚通し	家にあった
8	サンダー	家にあった
合計		20,300円

製作工程を見てみたいという方はコチラ
→ <https://youtu.be/IIVPSLYpE7U>

もしくは QR コードからどうぞ
→



わたくしが剣道と出会った頃

大好評企画につき第二弾です。日本各地それぞれの思いを抱えて剣道をスタートした皆さんが今、この浦和の地で共に剣道をする…ロマンですね♡

石井（由）さん

わたくしが剣道に出会ったころ(中学時代の思い出)～ちょっとマジメ？編～
今も小さいですが、中学生のわたしは更に小さかったのです。(当たり前か)学校では部活必須でしたが、その頃の須賀川三中には文化部は金管バンドしかありませんでした。友達のT田さんが入るので、一緒に剣道部に入りました。とにかく運動が苦手だったので、剣道という未知の世界ならなんとかなるか、と思ったのかもしれませんが。根がまじめですから、素振りも家でもやりました。そのころ少年ジャンプで「リングにかけろ」というマンガが載っていました。その中で、「パワーリスト」という、手首に巻くおもりを知り、親にねだって買ってもらうという恥ずかしい歴史もありましたね。

「これで腕の力が付き、竹刀を軽々と振れるに違いない」と思いましたが、ちっとも上達しませんでした。そりゃそうだ。腕で打つんじゃないもんね。小さいので皆に面を打ちこまれ悔しい思いをしましたよ。特に元気のあり余ってる中学男子の面はとっても痛かったです。今なら色々間違えているのがわかるけど、当時は、指導される先生もあまり来てなかったし。

試合に勝った記憶はないのですが、1本だけ、立ち上がってすぐの小手が入り、部のみんなが沸き立った場面を覚えています。試合には負けたのですが、あれはうれしかったなあ。

なので、ちゃんとした「剣道との出会い」は、こまけんに入ってから、と言っているでしょう。息子達を見ているうちに、剣道にとりつかれました。その美しさ、難しさ、深さ。駒剣の先生方は、剣道にある宝物をわかってらっしゃる方々です。出会えてラッキーです。

そこにつなげてくれたのですから、中学時代に剣道部だったのは、ラッキーだったな、とも思います。

大人だって、人生の正解なんてわかりません。わたしはコソコソ続けていたマンガに身を助けられています。親には、特に祖母からは「ポンチ絵描く位なら、お習字しろ!!」とか言われていました(笑)。中学時代には、友達にノートに描いたマンガをまわしたりしていました。中学2年生には雑誌に投稿も始めました。(ちなみに、「なかよし」)

私は決して成功しているとは思いませんが、失敗しているとも思いません。ただ、まかない種は生えないし、コソコソ続けることはしんどいけどそれなりに実はみのる、というのは実感しています。そしてそれぞれの過程で、楽しみ、感謝を忘れずにいれば、宝物はきっと見つかると思います。Enjoy!!



上岡さん

遙か昔、私がまだ目をキラキラさせて少女漫画を読んでいた頃の話です。

「りぼん」で「ポニーテール白書」という剣道恋愛漫画(!)が連載されていました。それから何年か後の「姫ちゃんのリボン」でもまた剣道。おまけに地元では六三四の剣のアニメが再放送されていました。

単純さに定評があった私と弟はすっかり剣道がやりたくなり、両親に頼んで剣道を始めさせてもらいました。



その時の私は小学5年生で、父の転勤の関係で岡山県の備前市というのんびりした田舎町に住んでいました。父はケが付く職業でしたので備前署の警察剣道が私のファースト剣道です。

警察剣道だからかはわかりませんがまず教えてもらったのは素振りではなく受け身で、おかげでどんなに吹っ飛ばされても大きな怪我をしたことはありません。

初心者だからとかまったく関係なくバンバン試合や出稽古に出て色んな方に揉んでいたことを覚えています。結局備前には一年しかおらずまた岡山市に戻るのですが、備前での剣道の思い出はキツクとも楽しい記憶ばかりで、だから軽く剣道が嫌になりつつも高校でもうっかり剣道部を選んだんだろうなと思います。

最初の道場、小6での少年団、中学の部活、高校の部活といろいろな所属面タオルを使ってきましたが私にとっての面タオルは最初の道場のものです。

きっと駒剣の子たちもこれから先大人になって面タオルを思い浮かべるときは緑色の心技体なんだろうなと思っています。

廣江さん

東京の江戸川区に住んでいた小1の頃、近所の子がみんな習っていたので、なんとなく剣道を始めました。当時、会員は100人近くいましたから、試合に連れていってもらえるのは、センス抜群の一部の子達だけ。並みの私は一度も試合に出たことがなく、剣道を楽しいと思ったことはありませんでした。

小2の3学期に越谷に引っ越すことになり、ここが剣道を辞めるチャンスと思い、密かにフェイドアウトを狙っていました。しかし、母が桜剣士会(現白桜剣士会)を見つけてきました。母には、やらなくてもいい？と言いましたが、父に「道という名前がつくものは途中で辞めてはいけない」と言われました。父の言うことは絶対だったので、渋々続けました。

桜剣士会は3年生からの受け入れだったので、2年間経験があった私でしたが、他の子と同じように基本組から再スタートとなりました。今、振り返るとこれが私の剣道人生を左右する大きな分岐点だった気がします。2年経験がある分、同期の中では見本をさせられたり、号令をかけさせられたりすることが多く、悪い気はしませんでした。また、ここで基本を徹底的に叩きこまれたお陰で、その後長く剣道が続けて来られたのだと思っています。桜剣士会の先生方は、よく褒めてくださりました。厳しい先生もいました。最初はその先生の車を見ただけで気持ちが悪くなり、引き返したこともありましたが、愛情と情熱をもって指導してくださるので、次第に自らぶっとばされるために、率先してその先生の列に並ぶようになっていました。稽古そのものはあまり好きではありませんでしたが、6年生の頃には、越谷で一番になったこともありまし、埼玉県選抜チームに選んでいただいたこともありまし

た。中学進学と同時に福島県に引っ越すことになりましたが、もう迷いなく剣道部に入りました。しかし、顧問の先生はいないも同然で、練習試合も私が他校と約束をとりつけて勝手にやったり、トレーニングと称して川で泳いで遊んだり、今では考えられないめっちゃくちゃな部活でした。

私は、朝は隣町まで自転車で行き、大人の有志による朝稽古に混ぜてもらいました。夕方は所属の剣友会の稽古、週に一度は福島警察署の稽古にも混ぜていただきました。中学ではいい結果は一度も残せませんでした。剣道を指導できる顧問はそう多くはないという現状を知り、剣道を頑張りたい子ども達のためにも、俺が将来中学の剣道部の顧問になると決意したのはこの頃でした。奉職後、顧問として呆れるほど情熱を傾けてきた原動力はすべてここにあります。人生、何があるか本当に分かりません。

今は、顧問という立場を離れ、駒剣士達の成長を見守りながら、とてもゆったりとした気持ちで剣道が続けさせていただいています。稽古は、今が一番楽しいかもしれませぬ。





OB・OGからのメッセージ



駒剣士のために、先輩方からたくさんのメッセージをいただきました。
みなでお稽古できるその日まで、気持ちは一つ！もう一息がんばろうね。

お名前
(卒業年)
荒井先輩
(1999)

①剣道を始めたきっかけ ②後輩へのメッセージ

- ① 自分が駒場剣友会を始めたきっかけは、特に習い事をしていなかった自分に、母親が勧めてくれたからです。初心者コースのようなものがあり。いきなり経験者との稽古が無かった事が、今思えば続けられた要因だと思います。丁寧に指導して下さった先生方には大変感謝しております。
- ② 部活動だけでなく、振り返ればそこに駒場剣友会という道場がある。ということが、みんなの強みだと思います。自信をもって活動してください。

石井先輩
(1999)

- ① 駒場剣友会の皆さま、いつも稽古に参加させていただいた際には、温かく迎えていただき、ありがとうございます。駒場剣友会OBの石井邦明です。現役の皆さんはもちろんご存知ないと思いますので、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、小学校4年生から駒場剣友会で剣道を始め、平成11年3月に卒業しました。卒業から約20年たった今でも剣道を続けており、六段への昇段が現在の目標です。
 - ② また、4歳の男の子、8か月の女の子、二人の子供の父親です。やんちゃな長男に手を焼いています。時々、私の竹刀を見よう見まねで振っている姿を見て、いつか今の皆さんと同じように、重い防具を背負って道場に通ってくれるのではないかと、一緒に道場に立てる日が来るのではと、期待を膨らませています。今後、様々な機会でお会いすることがあると思いますので、どうぞよろしくお願ひします。
- さて、私が剣道を始めたのは、すでに駒場剣友会に所属していた同級生から誘われたことがきっかけでした。その誘いを受け、剣道を始めた理由は2つあります。
- 1つ目は、強くなるチャンスだと思ったからです。当時の私は、喘息などで学校を休みがちで、姉と喧嘩をしては完敗する、心身ともに弱い子供でした。そこで、親や同級生から「剣道は健康に良く、精神力が強くなる」「剣道三倍段」という言葉を聞き、強くなれると思いました。
- 2つ目は、稽古の時間がベストな時間だったからです。休日の早朝から練習をしているサッカーや野球などに比べ、休日に練習がない剣道は、早起きする必要もなく、とても魅力的でした。
- このような理由で始めた剣道でしたが、駒場剣友会で剣道の技術や文化の素晴らしさ、また、剣道を通じて繋がった人との縁の素晴らしさを感じることができ、剣道が大好きになりました。そして、尊敬する先生方や優しくフォローしてくれる保護者の方々、素晴らしい仲間たちと過ごした日々は、私にとって一生の宝物であり、今でも剣道が続ける原動力となっています。
- 現在、新型コロナウイルス感染症のため、稽古が出来ない状況が続いていると思います。今後いつ再開となるかはわかりませんが、現役の皆さんに一つ提案です。剣道を再開する時に、皆さんも剣道を始めたきっかけを思い出してみたいはいかがでしょうか。ご両親や誰かにすすめられた場合は、剣道をすすめたその思いを、ぜひ聞いてみてください。原点に戻って剣道と向き合うことで、良いリスタートを切ることができると思います。稽古再開の際には、皆さんの大きな声の道場訓を私も聞けたら嬉しいです。いつか、道場でお会いできるのを楽しみにしています。

大本先輩
(2000)



- ① 今考えると……………
小学生の時に何故？道着を着て、重い防具を身に付けて動く事にチャレンジしたのか！
20数年前のアブストラクトしている記憶が少し甦ってきた。
・るろうに剣心(漫画)
・時代劇
・刀
って3つの単語が思い出される。
単純に剣を振り回す事を少年心に
「「「かっこいい！！！」」」
と思い迷わず駒場剣遊会に入会した。
いざ稽古を始めると……………
暑い・寒い・痛い・臭い・辛い
人間の受ける苦痛の全てを担ってるんじゃないか？？
理想と違いすぎる！！
先生方は必殺技を教えてくれないし
やり始めの頃は辞めたくて辞めたくて仕方なかった。
それが僕と剣道の出会いと、やり始めるきっかけでした笑
- ② 上記に書いた嫌で嫌で仕方なかった剣道も今を思うと感謝することが多々あります。
- ① 当時の先生方のお言葉
大人になってふとその言葉を思い出すと仕事や人間関係にとっても役にたち助けられる
- ② 辛い稽古
今辛い事や頑張らなきゃいけない事を当時の事を思い出すと励みになる
- ③ 先生・同期・先輩・後輩
大人になると腹を割って相談出来る人間に限られてくるけど……
駒剣で出会った人達は歳を取ってもなんでも話せる大切な存在
この3つが何より駒剣で得たかけがえのない大切な事でした
皆も徐々に学年が上がり大人になった時の励みになると思うので練習頑張ってください。
そして何か迷ったり嫌になって剣道を離れても駒剣で出会った人達はいつでも待っていてくれると思います。現に僕は剣道から離れてしまいましたが今でも駒剣の人達と交流を持ち
悪いことから良いことまで楽しく過ごさせて頂いております。
皆さんにもそう思える時期がくる様に稽古頑張ってください。
長々と駄文に付き合っただけありがとうございます。
今、大変な時期ですが皆さんの持つ駒剣魂で頑張ってください！
p. s 道場で見かけた時はいつでも声をかけて下さいね(*^~^*)

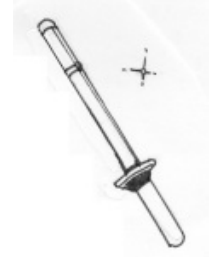
山口先輩
(2000)

- ① 小学校3年生のときに参加した『剣道教室』で剣道と出会いました。高学年の先輩の面打ちを道場の入り口から見て、竹刀の先が描く弧を「きれいだなあ」と思ったのを覚えています。剣道教室に誘ってくれた友だちとは木崎小学校の1年生で同じクラスで、今も連絡を取り合う仲です。剣道を始めてから何年も経ちました。進学や就職などで何度か引っ越していますが、どこに行っても私の部屋には防具と竹刀があります。どの場所でも剣道を通して仲間と出会いました。剣道ってすてきです。
- ② 稽古や試合ができなくなり、もどかしい気持ちの人もいると思います。きっと日本中に世界中に、同じ気持ちの人がいます。その人たちといつか稽古できる日が未来に待っているはずなので、その日を楽しみに健康に乗り越えましょう。私も駒剣で稽古できる日を楽しみにしています。



西先輩
(2008)

- ① 私が剣道を始めたのは幼稚園の年長の時で、父と兄が駒剣や修道館で稽古しているのをよく見学していて自分もやってみたいと思ったからです。ただ、当時は駒剣へは入会せず週一回の修道館に竹刀を一本持っていき、運動着で父とマンツーマンで稽古するといったスタイルでした。防具を着けるのを許されたのは剣道を始めて2年後で、それまでは切り返し、打ち込みのみの稽古でした。小学3年の終わり頃に駒剣に入会してその時初めて試合を経験しましたが、それはもう剣道を始めて4年後のことです。



基本打ちのみの稽古でよく4年間も続けたなと思いますが、特に競うライバルも居なければそれ程向上心も無かったので、何も考えずにやってこられたのが良かったのかも知れません。(笑)

- ② 剣道は「強くなろう・強くなりたい」と一心に想って稽古をしなければ本当に強くなることはできないと私は考えています。何も考えていなければ体力はつくかもしれませんが単なる有酸素運動と一緒に、わざわざ道場へ来る必要なんてありません。「強くなる稽古」を実践している人はやはり竹刀を交えた瞬間にその心意気を感じます。どんな相手であろうと、打たれると分かっているにも真っすぐに割って入るその姿勢が人としての強さつまり人間形成に繋がるのではないのでしょうか。今は稽古が出来ない日々が続きますが、日頃のトレーニングや素振りにおいても「稽古ができない補完」ではなく、今日一日でまた強くなろうという気持ちで行ってみてください。気持ちの変化は必ず剣道に現れます。

真砂裕先輩
(2010)

- ① 幼稚園の剣道体験会で、剣1本で相手と戦ってぶっ叩くことに憧れを抱き、実際に叩いて快感を覚えた。その後、近所の剣道クラブに加入し、大阪からさいたま市に引っ越して駒剣に出会った。
- ② 先生方は皆さんの偉大な先輩です。きっと色々な失敗と成功、敗北と勝利の果てに、君たちの先生になってくれています。目先の勝利や感情が大切な気持ちは分かりますが、まずは、アドバイスを素直に聞きましょう。守破離の守がグラグラしていると、破も離も大したものにはなりません。頑張ってください！応援してます！

本城先輩
(2013)

- ① 近所の人に誘われたから。
- ② 私も予定していた大会が無くなりやるせない気持ちでいっぱいですが、また元気に剣道できるようにこの危機と一緒に乗り越えましょう。

真砂智先輩
(2013)

- ① 兄がやっているのを見学している内に、気づいたら自分も始めていました。
- ② 剣道の稽古には相手が必要です。仲間、特に同級生を大切にしてください。お互いに切磋琢磨し合っていける学年は強くなります。たとえ自分が稽古できない時でも道場に足を運んで仲間の稽古を見学して先生、友達と話して下さい。駒剣という「家族」の一員であることに誇りを持って頑張ってください！陰ながら応援しています！

真砂歩先輩
(2014)

- ① 兄弟の影響で剣道教室に通い、楽しかったので駒剣に入った。
- ② 駒剣の先生方、保護者の方々は親切で、温かい剣友会です。感謝の気持ちを忘れずに、挨拶や返事をしましょう。先生方からアドバイスをたくさん頂いて、強くなって剣道を楽しんでください。



岡部先輩
(2017)



- ② コロナウイルスの影響で駒剣でも剣道ができていないようですが、みなさんはどうやって過ごしていますか。いつかまた稽古が再開したときのために毎日素振りしている人、何もせずに過ごしている人、色々な人がいると思います。僕は親に勧められて剣道を始めました。その経験から一つ言えることは今どんな過ごし方をしている子であってもぜひ「自分で考えて行動してほしい」ということです。剣道だけでなく、勉強などにおいても自分でやる目的・目標や方法を考えてから行動することができると「人に言われてやっている」「なんとなくやっている」状態よりも上達しやすいし、何より楽しいと思います。是非この期間も自分で考えて上手く使い、いつもの生活に戻ったときに休みの分まで充実した生活を送れるように一緒に頑張りましょう！

小澤先輩
(2017)

- ① 私が剣道を始めたキッカケは姉が中学で剣道をやっていたからです。大会について行った時に初めて剣道をカッコいいやってみたくて思いました。それからすぐに駒剣に入りました。駒剣に入ったことで新しい仲間や先生達に出会うことができ、剣道を始めて良かったと思えました。
- ② 今はまだみんなと集まって練習をすることができませんが、個人個人で素振りやすり足の練習などできることを続けて始めた時にまた今まで通りに剣道ができるように頑張ってください。

加藤先輩
(2017)

- ① 私は兄貴の影響で小学2年生から剣道を始めました。当初は剣道に対してやる気が全くもてず、試合に負けてもなんとも思っていませんでした。しかし、4年生の終わり頃に母に駒剣を辞めさせられそうになり、自分が弱くて情けない剣道をしていることに気づきました。そこから必死に剣道に取り組み、勝つことの楽しさや仲間と努力することの大切さを知ることが出来ました。
- ② 今はコロナウイルスの影響で稽古もまともにすることが出来ず、とても残念に思っています。だからといって剣道から離れてしまうのではなく、素振りをしたりランニングしたりといつ剣道ができるになってもしっかり動けるように練習を欠かさず行っています。努力は報われると思うのでこの剣道から離れている期間でも自主練をしていきましょう。

川島先輩
(2017)

- ① 僕は小さい頃、祖父母と一緒に時代劇をよく見ていて、それを真似してチャンバラをするのが大好きでした。その様子を見ていた警察官の伯父が剣道を勧めてくれました。そして小学校3年生の時に、駒場剣友会のチラシを見て体験に行き、先輩方の凛とした姿に圧倒され自分もこんな風になってみたいと思ったのが剣道を始めたキッカケです。
- ② 僕が駒剣で稽古していたころ、稽古が辛いとか嫌だとか思ったことは一度もありませんでした。その頃の僕にとっては一回一回の稽古ごととも貴重で、毎週木曜日と土曜日を楽しみにしていました。今、コロナウイルスの影響で稽古ができなくなっているのは辛いと思います。その分、再会後の稽古を思いっきり楽しんでください。一日でも早い駒剣の再開を祈っています。

菊池先輩
(2017)

- ① 自分が小さい頃に、兄が通っていた道場によくついて行って剣道を見ていて、自分もやってみたくて思ったからです。
- ② 今、稽古が出来なくて寂しいしつらいだろうし、これからもいろいろなことがあると思うけど、乗り越えて強くなって欲しいです。

中島先輩
(2017)

- ① 兄の付き添いで道場に行った時、「やりたい！」と思ったから。
- ② みなさん、目標はありますか？はっきりとした目標がない子はまずは目標を立ててみましょう！そうすると、稽古に対するやる気が出てくると思います。これからも頑張ってください！！



細野先輩
(2017)

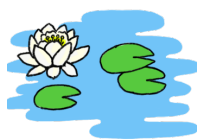
- ① 小1の時、近所の子と駒場緑地で遊んでいる時に駒剣を小窓から見たのがキッカケです。それから小2の剣道教室まで半年やりたい気持ちが変わらなかったのが駒剣に入会しました。
- ② コロナで全然剣道が出来ないですが、またみんなで剣道ができる日が来るのを楽しみにこの期間を有効に使ってください。

松本先輩
(2017)

- ① 剣道を始めたきっかけは兄がやっていたからです。最初は恥ずかしくて声を出すこともできず、剣道が好きではありませんでした。しかし、稽古を重ねるにつれて剣道が好きになり、剣道を通じて得たものも沢山あります。
- ② 新型コロナウイルスの影響で、駒剣も稽古が出来ない状況だと思います。私も高校に入学してからまだ一度も部活に参加できていません。今までのように当たり前に行けず、仲間と稽古することも出来ない辛さを実感しています。皆さんも同じかと思います。こんな状況で大事なことは仲間を忘れないことだと私は思います。一人じゃできないことでも仲間がいれば頑張れます。たとえ、一緒に稽古することができなくても、会えなくても「一人じゃない」、「仲間がいるんだ」と思えば頑張れると思います。それぞれ大変な状況だと思いますが、一緒に頑張りましょう！



峯先輩
(2017)



親に勧められていやいや始めました。最初は「剣道？なにそれ？」みたいな感じで全くのゼロからのスタートでした。千思万考。剣道も何事も考えることが大切だと思います。ぜひ色々考えて、悩んで、自分の答えを見つけて下さい。周りの人はその答えが間違っていたら止めてくれるし、正しかったら応援してくれます。自分の答えに自信をもって頑張ってください。少し上からで申し訳ない(汗)

今回の企画は関口先輩が発案、OB・OGの皆様への連絡、取りまとめをしてくださいました。

そしてご寄稿くださった先輩方、卒業して時が経っても後輩たちのためにこのようにご寄稿くださったこと、心より感謝申し上げます。お稽古が再開しましたら、是非駒剣にいらしてくださいね。

皆様、本当にありがとうございました。(編集)



毎年この時期に行う自己紹介。せっかくなので、この3ヶ月共に stay home をした最も身近な保護者の皆さまに紹介していただきました～！とにかく愛する我が子のいいところがたっぷりです！みんないいとこ、いっぱいだね。



秋本くん

①休校期間中、腐らず怠けず規則正しい生活をしていた。(偉かった☆)②信号待ちをしていたら、母の靴のストラップが裏返っているのに母より先に気づき、サッとかがんで直してくれた。(トキメキました♡)③疲れていても怒られても面倒臭い時でも、毎晩、母の布団を敷いてくれる。(雑な日もあるけど…嬉しい♪)④ウルトラマン愛♡が深く、TV、映画やライブショーを一度見るとセリフや動きをほぼ覚える。(行く甲斐があります◎by 父) ⑤袴を脱いだら…足が長い(かも)。(親の鼻頂目 by 姉)

加藤くん

- 基本的に笑顔でポジティブ思考
- 正義感が強い
- 人見知りをしない
- 面倒見が良い
- 物事を真剣に考える
- 感情を表情豊かに表現できる
- 相手の気持ちを思いやる事ができる



上岡くん

まず第一にとても可愛いことは皆さんご存じだと思いますのでそこは割愛させていただきます。
 彼は母から見るととても不器用です。早とちりでイラチなのでこちらが言ったことを半分ぐらい聞いて事を進めようとするのでたいがい悲惨な結果になります。
 字はお粗末の一言で楽器演奏もお察しといった感じでした。
 ただ彼は負けず嫌いで、正しい努力ができる人でもあります。またひねくれたところがなく非常に(自分自身に)素直です。
 字はまあパソコンあるし、と慰めていた筈が何枚も何枚も練習するうちにこちらがあっと驚くようなバランスの良いお手本に近い字を書くようになりました(当社比)
 楽器演奏も吹けるようになるまで繰り返し繰り返し練習を重ねます。勉強もわからない事が嫌で一生懸命に時間をかけてでも頭を捻ってできるようにします。
 ダメ出しをされた自分を覆す方法はいくつもある中、彼は正攻法で攻略を試みます。もちろん剣道もしかりです。
 そして何より彼には私にはない柔軟な発想力があります。
 これから先いろんな困難があるでしょうが、人よりも遠回りしたとしても正攻法で努力でき、驚きの発想力で挽回を図る直起を母は全力で見守り応援すると思います。我が家の次男坊はそんな子です。

俵くん



ご存知の通りマイペースな我が子ですが、自分が興味のあるものや事に対しての集中力はすごいなと感心する時があります。
 涼太は家庭科の裁縫が始まってからミシンにハマリ思い立ったらすぐミシンを取り出して型紙も無しで色々作ってしまいます。
 今まで作ったものは、巾着やブックカバー、小物入れ、マスク、雑巾などなど。

先日「鬼滅の刃」の漫画本を買ったのですが、お気に入りです。汚したくないとブックカバーをささっと作っていました。私は裁縫のセンスゼロなので、洋裁のプロだった私の母親譲りの才能なのかもしれません。それから、涼太は小さい子の面倒を見るのが得意で、小さい子と同じ目線になって遊んであげたり優しく声かけたりしているので、近所の小さい子たちが嬉しそうにしています。品田君の弟のみっちゃんも可愛いがっていて、slackでの近況報告や写真を見せるといつも目を細めています。(孫を慈しむ祖父のような目で笑)

廣江さん

とても優しく、小さい子や小動物のお世話が大好きです。運動が得意で、毎年リレーの選手に選ばれています。空中逆上がりは連続で何回でもできます。水泳も全ての泳法をマスターしました。地道にコツコツ努力するタイプで書き初め展では県展までいったことがあります。金管バンドではトロンボーンを吹いています。Stayhome中は、料理に挑戦しています。卵焼き、たこ焼、マカロンなどを上手に作れるようになりました。



宮島さん



優しく思いやりがあり、率先して洗濯、料理、掃除などを手伝ってくれます。どんな場面でも慎重にじっくり考えてから行動しています。親に似ずに真面目な子で良かったです。工作やパズルなど細かい作業を最後までやり遂げる根気強さがあります。安室奈美恵や、小室ファミリーなどやや懐かしめの音楽を好み、学級の自己紹介でも堂々と「Overnight Sensation (TRF) が好きです！」と言える自分らしさをもっています。

百木くん

家ではお喋り上手で、家庭内流行語になりそうな面白いことを言って笑わせてくれます。手先が器用で、細かいレゴやナノブロック、工作などどんどん作ってくれます。好きなことはとことん諦めず、いつまでやっても楽しいようで、更に、何かやる時はいつも一緒にやろうと誘ってくれます。お陰で自肅中、毎日毎日、大縄跳びを一緒に…やらせてくれます。うん、そうだよ、一緒の方が楽しいもんね…。そんな可愛い慎竜です。

森岡くん



小さいころから尊敬するのは『ゲゲゲの鬼太郎』の水木しげる先生。今もテレビ番組『何だこれミステリー』など不思議なことが大好きです。感受性が強く想像力が豊かなのです。まあ、豊か過ぎるのか多少こわがりなのはご愛敬ということ…。他人の気持ちに敏感なのが良いところ、あとは優しいところかな？自分が怒られていなくても他人が怒られているのも嫌みたいです。最近は家の中ではその優しさはすべて愛犬の『ヒカリ』君にそそがれています。まさに「ねこっかわいがり」とはこのことだという勢いですが、一応ツッコんどくと『ヒカリ』君は犬ですよ！家の中では3人兄弟の一番上のお兄ちゃん、何でも全部最後に叱られるのは長男なのでかわいそうなことも多いけど、まあ許して下さい。意外に頼りにしているのですよ。そんなわけで、我が家の想像力豊かで優しい、ちょっとだけ頼りになるお兄ちゃんです。父より

岩田くん

巣ごもり生活で親の方がイライラしたりする中、あなたは常に、ほのぼのの、のんびりとふるまい、平常心を乱すことなく緊急事態を乗り切ってしまいました。大物なのか、何も考えてないのか、親から見ても掴めませんが、結果オーライ。名前のお通り、これからも朗らかにいきましょう。

小澤くん

上に姉が二人いるせいか、性格なのかいつもマイペースです。小さい時はよくお手伝いで洗濯物をたたんでくれたりしました。勉強もコツコツやってくれるので、助かっています。この自肅中もやりました。一番良い所は、赤ちゃん

の時からなんですが、笑顔がとっても良いです。これは本当に親の私も羨ましいです。そして、ゲームに詳しいです。最近、YouTubeを見て、ゲームの研究をしたり、ヒカキンを一生懸命見えています。そして基本的に人に優しいので、私はそれで良かったと思います。これからも、そのままの息子でいてくれたらと思っています。

小島くん

決めたことをちゃんとやることです。
あと、手伝いをよくしてくれて、助かってます。
家にひとりになって、学校や塾に行く際、ご飯食べて洗い物して、鍵かけて出掛けるのでよくやっていると思っています。

品田くん

いい意味で「石橋は叩かず渡る」タイプのように、とにかくやってみようと思います。例えば駒剣も1年生の終わりに兄の友人の雄次朗くんがふと誘ってくれたときに「やるやるー」と即答。4年生になる前には友達が入るからと金管バンドに入ると即決。親の心配を尻目に本人は本人のペースでどちらも継続中。剣道に金管バンド(チューバ)にと親の知らない世界をどんどん開いてくれました。なんだか面白い子だなーといつも思います。
そして私が何だか疲れたなーと思っていると、察してくれるのか「みっくんと遊んでいようか?」「少し寝てくれば」とか言って欲しいことをすごくいいタイミングで言ってくれます。私が復職してからは米とぎ浸水は欠かさず助かっています。自分が麦茶を飲むときには「お母さんも飲む?」と聞いてくれるなど優しいっぱいです。いつもありがとう。



柴田くん

彪寛は小さい頃から一度やると決めたことは、どんなことがあってもやり通す頑張り屋の性格です。幼稚園の年中か年長の頃に日記を書き始めたのですが、一日も休まず一年以上毎日書き続けていました。
休校中に始めた素振り(自主練)も、3月上旬から今日まで一日も休むことなく継続しています。最近毎朝5時前に起きて夜8時頃には寝るという修行僧のような(?)規則正しい生活をしています。
今まで目覚まし時計のお世話になったことは一度もなく、朝の支度も早いので、小さい頃からとても楽でした。
また、体力、特に持久力には自信があるようで、去年初めて参加したマラソン大会(アップダウンの激しい結構キツイコースでした)では14キロを1時間12分で完走し、年代別順位では1位でした!
休校中も筋トレやランニング、木登り、鬼ごっこなどの体力づくりに励んでいて(遊び過ぎ?)、腹筋もバキバキです(笑)
あとは家のお手伝いを本当によくしてくれます。
3ヶ月の長い休校期間、色々大変でしたが、今まで以上に彪寛の良いところがたくさん発見できたのは良かったです。

矢嶋くん

- ・とても思いやりがあるところ。
- ・頼まれたことはきちんとお手伝いするところ。
- ・笑い上戸で、家族を明るくしてくれるところ。
- ・工作や細かいものが好きで上手に作ってプレゼントしてくれるところ。
- ・テレビでニュースを見ていて、いつの間にか社会情勢をわかっているところ。(教えてくれます)

小野塚くん

素直なところ。言えばだいたい分かる。
手先が器用で図工好き、絵が上手。



(兄)

高山くん

何かやりたい・欲しいといった目標があれば他のものに目もくれず、まっすぐ突き進んでいくところが素晴らしい。嫌なことがあっても少し時間を置くと、引きずることなくケロッと切り替えられているところもとても良いと思う。

並木くん 優汰は握力を強くしようと、両親の腰揉みを進んでやってくれます！まだまだ可愛い四年男子です！

廣江くん 明るく、元気です。叱られても立ち直りが早いです。運動やゲームでは、負けず嫌いなどがあります。駒剣の仲間や他の道場の強い子の動きなどをよく見て、自分の剣道に生かそうとしています。瞬発系の運動が得意で、保育園の相撲大会ではいつも一番でした。意外にも折り紙が得意で、色々なものを折ることができます。勉強では、算数が得意で計算が早いです。Stay home中は、洗濯物を毎日たたんでくれ、たたみ方がとても上手になりました。

宮島くん 要領が良く、興味を持ったことへの集中力は非常に高いと思います。電車に対する関心・意欲は幼い頃から継続して高く、関東の路線・駅名は低学年で全部覚え、今では時刻表を片手に日本全国の電車旅を空想しています。好奇心も旺盛で、子ども向けの事典から新しい知識を学ぶことが好きなようです。根気の必要な作業は苦手などありますが、自主的に取り組み始めたことは自分の納得する形までやり遂げています。

百木さん 正義感が強く、純粋な優しい廉珠。純粋過ぎて、嘘も間違えたことも素直に信じてくれます。心が綺麗なのでリアクションもわかりやすく、笑ったり驚いたりしている姿が可愛いくてついからかってしまいます。また、非常に人を気遣うので、人に我慢してでも合わせてくれます。お陰で、自粛中に家でしていた映画鑑賞は、いつも家族に合わせてくれました。それでも、楽しく一緒に見てくれる、そんな可愛い廉珠です。

小野塚くん
(弟) まだまだかわいい。
おっきな赤ちゃん。ニャバシー！

葛西さん 須山先生の厳しいお稽古が好きなようで、掛かって稽古するのを楽しみにしているようです。家では先生の気合の発声もマネするのがお気に入り、思わず笑ってしまいます。(須山先生、すみません)



暑くなってきたね！
マスクをしたまま運動すると
熱中症の恐れがあるよ。

水分補給を忘れずにね。



石井のetc日記

笑撃! 編

わたしが剣道に出会ったころ(中学時代の思い出)

何それ?

エーテルワイズ
これは私の
太陽です?
...???

伝言ゲーム中

剣道部は部室というものはなく、
体育館のステーツソテで
ミーティングをしていました。
そこでおしゃべりしたり、伝言ゲームを
した思い出があります。
1年生と3年生が仲良くなって、2年生と
対立してしまう、というよくある問題(?)
も起きていたり。

↑ちなみにこのときのもとのコトバは、〇センパイの
「クラウド・ハインツ・フォン・テム・エーベルバ...ハル少佐」でした◎青池保子センセイ
この◎先輩のおかげで「パタリロ!」も知りました(笑)
...しょうもないコトばかり覚えてはいる...

みいけ

部活の体育館の順番待りの間に、
カンケリをしたり
冬には体育館のピアノのかけで
トランプしたり... などの思い出が
あります... アレ?

剣道は どうしや

コラコラ

大会のときに
お弁当のハツを忘れた私は
ノートを筒状にまらめて
おハツ代わりに使って
窮地を脱したのでした。
おハツ 借りに行けない位
ツライだったので...
アレ?

大丈夫?

おハツ
かりこければ
いーじゃん!?

先月も登場の
Kちゃん

こっ、こいば記事でいいのかな!?